



## 「想いを繋げる」

校長 苔米地 高志

3月は1年間の成長を振り返る時期です。特に、小学校生活の集大成を迎える6年生は、1年間のまとめだけでなく、「最高学年としての跡を残す」ということにも力を入れています。

2月22日の朝会後に行われた「引き継ぎ式」では、一小の6年生が次を担う5年生にバトンを渡しました。校旗の掲揚、全校朝会における冒頭の挨拶、委員会やクラブ活動での活躍、下級生のお世話など、リーダーとしての役割を引き継ぐことで、一小の自慢の一つである「お手本になる」という気持ちを繋げることができました。

2月26日に行った「6年生を送る会」は、憧れの姿として思い描いていた6年生に、在校生が感謝の気持ちを伝えました。例年のスタイルは、体育館で全校児童がそれぞれの想いを伝え合う温かさに包まれた集会でしたが、今年度は、校内での動画配信を中心にした会になりました。このような形であっても、「感謝を伝えたい」という気持ちはしっかりと届けることができました。制限がある中での開催は、「跡に残す」と「想いが伝わる」という気持ちがいっそう明確になったように感じます。

6年生が制作している卒業文集の下書きを見る機会がありました。その中で6年生は、思い出とともに自身の将来の夢を語っています。前を向いて進み始める姿勢に、6年間で蓄えた自信をもって巣立とうとしていることを感じ取ることができました。

147年の歴史を誇る国立一小の前を向く想いは、今年もしっかりと引き継がれています。

例年とは違うスタートをきった本年度も、「ほめて伸ばす」を保護者や地域の方と共に形にすることができた1年となりました。「チーム一小」としてのこの想いを、次年度にも引き継いでいきます。

梅の花の香りに包まれた国立一小に待ちわびていた春が訪れています。

## ユニセフ募金の結果

皆様から募金していただいた合計金額は、51,963円になりました。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

**3月の生活目標**「明るく、優しく手本となる子」

**食育目標**「一年間マナーを守って食事ができたか振り返ろう」

**安全指導**「交通事故の恐ろしさについて知る」

「交通事故が発生したときの対応の仕方を知る」

「春休みの過ごし方を確認する」「一年間のまとめをする」

## 3月の行事予定

日	曜	朝	学校行事
1	月	朝会	保護者会(6) おかえりなさいの日
2	火	モジュール	保護者会(1・2・3)
3	水	モジュール	
4	木	モジュール	保護者会(4・5)
5	金	安全指導	委員会活動 安全指導・点検日
6	土		土曜授業3時間 卒業・進級おめでとう会(杉) ソーラン節発表会(6)
7	日		
8	月	朝会	保護者会(杉)
9	火	モジュール	
10	水	モジュール	
11	木	モジュール	東日本大震災による犠牲者への黙祷
12	金	モジュール	クラブ活動
13	土		
14	日		
15	月	朝会	
16	火	モジュール	
17	水	モジュール	幼保交流(1)
18	木	モジュール	
19	金	モジュール	
20	土		春分の日
21	日		
22	月	朝会	給食終 5時間 美化デー
23	火		特別時程4時間
24	水		修了式 特別時程 卒業式予行
25	木		卒業式
26	金		春季休業日始
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

※3月の避難訓練は、予告なしで行います。

☆保護者会は、ご家庭で検温の上、ご出席ください。

裏面の記事もご覧ください。

# 特別支援教室「はばたき」

巡回指導教員

今年度は、例年とは全く違った一年となってしまいました。それでも1学期の後半より学校が再開され、特別支援教室「はばたき」の指導もここまで無事に行うことができました。

「はばたき」では自分の考えを話せない、友達とうまくいかない、持ち物やスケジュールの管理がうまくいかない、気になるものがあるとそちらに気をとられてしまう、怒りや悲しみのコントロールが困難といった苦手さをもつ児童を対象として授業を行っています。これらのことは、一般的には成長に伴って徐々に克服していきます。しかし、成長の途中のためにできないことを「自分は何をしてもダメ」と勘違いをしてしまい、自信や意欲までもなくしてしまう児童もいます。

そこで「はばたき」では、自信や意欲を無くさないために、自らの苦手さを克服する方法を学習しています。例えば、考えを話すことが苦手な児童には、先に結論を述べて、あとから詳細や理由を付け加える話し方を練習する。また、持ち物の管理が苦手な児童には、持ち物やスケジュールの管理方法を教員と児童が一緒に考えて実行してみるなど、その児童にあった方法を学習しています。

このような学習を、個別指導（教員1名と児童1名の一对一の指導）と小集団指導（教員2名と児童2～3人程度の活動）で行っています。「はばたき」での学びにより、自らの学級での「できない」を「できた」に、また、「不安」を「自信」に変え、クラスで楽しく過ごせるようにしていきたいと考えています。

特別支援教室「はばたき」では、来年度も、個別指導と小集団指導を週に1時間ずつ行います。「学習内容や指導方法に興味がある」「子供の困り感について相談してみたい」などがありましたら、学級担任を通してご連絡ください。

## 各学年の教育活動の紹介

### 杉の子学級

杉の子学級では、三中A組さんとリモート交流を行いました。

初めての取組でしたが、お互いに自己紹介をしたり、「小学校クイズ」「中学校クイズ」を出し合ったりするなどして、楽しい時間を過ごしました。

一小的卒業生との画面越しの再会をみんな喜びました。そして、中学校の様子もたくさん教えてもらい、みんな嬉しそうでした。

### 1年生

6年生を送る会では、お世話になった6年生へ歌やお礼の言葉を練習して録画しました。「素敵な友達」の歌やお礼の言葉を感謝の気持ちを込めて伝えることができました。

6年生と1年生と一緒に写った写真とお礼の手紙を添えて写真立てを渡しました。お互いに良い思い出になりました。

### 2年生

6年生を送る会の準備をしました。今までお世話になった6年生に

「一生の思い出にしてもらいたい！」

「中学校に行ってもがんばってもらいたい！」

という気持ちを込めて、出し物のプレゼントをしました。6年生に喜んでもらえたことと思います！！

### 3年生

社会科「昔の道具とくらし」の学習で、くにたち郷土文化館へ行きました。昔の人々が使用していた道具について教えていただき、大八車やもっこ、背負い梯子など昔の道具を使って藁を運ぶ体験をすることができました。展示では明かりの歴史について実物を見ながら教えていただき、昔の人たちの工夫や努力について学ぶことができました。教室では分からないことを、体験を通して学ぶ貴重な機会になりました。



### 4年生

ひまらやタイム「地域の伝統芸能を受け継ぎ隊」の学習では、谷保天神太鼓保存会の方を講師に招き、『太鼓囃子』の発表会を行いました。今年は、クラスごとの演奏となりましたが、子供たちは自分のもつ力を存分に発揮することができました。伝統芸能の技術や、受け継ぐ人たちの強い気持ちに触れ、地域の良さに改めて気付く貴重な経験となりました。

### 5年生

5年生は今、『国立第一小学校の最高学年』になるために、いろいろな場面で6年生の姿から大切なことを学ぼうとしています。先日、『引き継ぎ式』を行いました。6年生が国立第一小学校の『顔』として取り組んできた校旗掲揚、朝会での挨拶など、守ってきた伝統について教わりました。今年度は在校生としての卒業式への参加は叶わないものの、卒業式で飾る花を枯らさないように大切に育てています。また、今までの感謝の気持ちと最高学年としての決意を伝えられるように合奏の練習に励んでいます。

### 6年生

憧れられる姿を目指して、今できることを全力ですることを大切に、今日まで最高学年として過ごしてきました。例年にはないスタートを切った一年でしたが、子供たちの日々の成長は目を見張るものがありました。

「下級生のお手本になるんだ！自分たちが一小を引っ張っていくんだ！」という大きな期待をもった表情が印象的だった春。早速始まった1年生のお世話。「1年生ってこんなに一つ一つのことに時間がかかるんだね。自分たちもそうだったんだ。手伝ってあげないと！」。手探りの日々を過ごす中で最高学年としての使命感と、5年前の感謝の気持ちに気付きました。

ミニスポーツ大会では、5年生と協力して日ごろの学習の成果を見せることができました。体を動かすことの楽しさや、競い合い高めあう素晴らしさを感じるとともに、行事ができることに感謝の気持ちも芽生えました。

実施自体が奇跡の連続だった日光移動教室では、「野外体験教室の経験をもとに最高の思い出をつくろう」というめあてをたてて集団生活を送りました。奥日光の自然に触れ、普段では味わえない経験をすることができました。日光東照宮の美しさに感動し、雪の中で見た華厳の滝に圧倒され、思い出に残る3日間となりました。

長いと思っていた小学校の6年間も、卒業式の日を含め、残り20日となります。入学したあの日から今日まで、自分たちを支え、見守り、導いてくださった方々への恩返しの気持ちをしっかりと行動で示し、最後まで自分たちらしく締めくくることができるように、担任一同、指導していきます。